

指定管理者制度の方向性は

質問

指定管理者制度について、今後の市としての方向性、目的は。

また、制度の評価は。

企画部長

基本は、民間で出来ることは民間で。そして、民間企業などの専門知識や経営資源を活用し、効果的な行政サービス、業務の推進を図っていきたい。評価は、管理業務実施状況・利用状況などの報告書、実地調査などを実施している。また、利用者アンケートも場合によって実施している。

今後、効率的かつ効果的な施設、住民の方が利用しやすいサービスの向上を第一に考えていく。

質問

「民間で出来ることは民間で」との考えであれば、指定管理者制度ではなく、民間譲渡という方法もあるが考えは。

副市長

当該施設の目的が発揮されるような方法で管理していきたい。それぞれの施設の目的を見ながら判断していきたい。

職員の人事評価制度の今後は

質問

現在、市職員の人事評価制度が試行的に実施されている。評価制度の試行的運用について、内容と現状・評価、また今後の実施の方向性は。

総務部長

現在、能力の発揮状況を判断する「能力評価」と、役割・成果を判断する「業務評価」があり、第一段階として「能力評価」を導入した。今後、人事異動・昇格、人材育成の観点から活用していく。

質問

本格的運用に当たり、現状のシステムで問題はないのか。

総務部長

11月1日を基準としていきたい。まだ時間があるので、再度よく検討し、進めていきたい。

質問

職員のレベルアップ、職員教育の上で、人事評価として、専門的スタッフで担当し、職員教育を行っていくことも必要だと考えるがいかがか。

総務部長

人事評価について、研修会も随時行っている。職員の声も聞きながら進めていきたい。

その他の質問

・市からの補助金団体、委託業者・団体に対する実態調査は



日永貴章 議員

総務部長

今年度より本格的運用で進めたい。

質問

今年度(平成22年度)も試行的実施なのか。

